
ハリケーンミキサー

ティ・ラ・アイメリッタ

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

ハリケーンミキサー

【Nコード】

N43760

【作者名】

ティ・ラ・アイメリッタ

【あらすじ】

女の子が男の子を振り向かせようと、あんなことやこんなことするお話。

初めまして！（前書き）

他に連載作品があるのに何やってんだ！というあなたへ

申し訳ない！つい魔が差して…

私の息抜きと思っていただければ幸いです。

よって、このお話は1話1話がとても短く、しかも更新頻度が少ない！

という状況に陥るだろうと思われます。

そんなお話ですがどうぞよろしくお願いします。

初めまして！

私の名前は花風美麗。はなかせみれい

たいていのことは難なくこなせちゃうカワイイ女の子。

そんな私は恋をしています。

相手は幼馴染の男の子。

名前は秋山祭！あきやまつり

え？私が祭ちゃんを好きな理由？

そんなの簡単！好きだから！！

この気持ちに理由なんて要らないの！！

初めて会ったところ…

そう、産まれてすぐに出会ったあのころから私は祭ちゃんを愛し

てる！

神様見ててね！

私、なんとしてでも祭ちゃんを射止めて見せるんだから！

「祭ちゃん！」

「どうしたの？ミーちゃん？」

「愛してるわ！！」

「あ、ネコ！まって〜〜〜。」

祭ちゃん……………

くっ、あきらめないんだから！

いくら祭ちゃんがマイペースで、天然さんで、おバカさんでもあきらめないんだから！！！

だから神様！

私が祭ちゃんをこの手に落とす勇姿をしつかりとその眼で見とい
てください！

「うわぁ！」

あ、走って猫を追いかけてた祭ちゃんがこける…

「いたっ！」

「祭ちゃん大丈夫！」

「うん、だいじょーぶ！」

あー祭ちゃん、かわいいなあ。

初めまして！（後書き）

いろいろとお話を書いて、スキルUPできたらいいなあ

紹介しましょ、そうしましょ

さて、自己紹介と祭ちゃんについての紹介の時間よ。

まずは私から！

私の名前は花風美麗。

誕生日は6月10日生まれで、歳は15！

恋に勉強に忙しい中学3年生ってことね。

身長は165cmでスタイルはそれなりにいいと自覚してるわ。

後、自慢じゃないけど容姿端麗、頭脳明晰、スポーツ万能で何でも出来るパーフェクトな乙女よ。

幼い頃から近所では天才少女ってもてはやされたわね。

好きなものと嫌いなもの？

そんなの好きなのなんて決まってるじゃない！

祭ちゃんよ！

え？他に好きなもの？

うゝんそうね、料理・掃除・おしゃべり・ピアノ…

と、こんなものかしら。

嫌いなものは虫よ！

後は苦手って奴なんだけどPCとかかしら…

ま、苦手って言うても普通に扱うことぐらいは出来るわ。

つまり、別に機会音痴って訳ではないってこと。

私の自己紹介はこれぐらいで終わり！

質問があつたら後で各自にね！

次はいよいよ祭ちゃんの紹介よ！！

祭ちゃんのフルネームは秋山祭。

運命的なことに誕生日は私と同じ6月10日！

勿論、同年よ。

身長は可愛らしく155cmと小柄。

頭はお世辞にも良いとは言えなくて、運動神経は何も無いようなところで日常的にこけるっていう切れっぶり。

いつもニコニコしていて、いるだけで場を和ますみんなのマスコット要員！

人からの評価を全く気にしない、超マイペースな男の子。

ちなみに、家はお隣で家族ぐるみの付き合いがあるわ。

子供が生まれる前からのお友達って言ってたわね…GJ！！

私の思いは周囲に知れ渡っていて、どちらの両親も公認！

むしろじれったいから早くくつつけて言ってくるほど。

どうして祭ちゃんにこの思いが伝わらないかな…

ああ後、家族構成は私が両親に妹の4人家族で祭ちゃんは両親に姉の4人家族で猫を飼っているわね。

みんな私の恋を応援してくれるわ。

じゃあ、祭ちゃんの紹介に戻るわよ。

祭ちゃんの好きなものと嫌いなものね。

好きなのは猫と機械いじりに睡眠。

嫌いなのは勉強よ。

それと最近、お小遣いで株を始めて、適当に買った株でなんと一攫千金の大当たりをしていたわね。

昔から運がいい子だったんだけど…こけて茂みに突っ込んだ先で大金拾ったり。

勿論交番に届けたんだけど、落とし主が現れなくて祭ちゃんが受け取ってたわ。

紹介終わり！

質問があれば私にしなさい。

あ！あんなところに祭ちゃんが…！
じゃあね…！

「祭ちゃん好き！」

「俺も好きだよ。かわいいよね。」

「え、あ、ありがとう…！（やった！私の思いが通じた！これでこのお話は第二章の私たちのラブラブ話に早くも移行よ！）」

「？ほら、ミーちゃん、この子だっこする？」

ニヤー

「ね、ネコ…」orz

「？へんなミーちゃん…」

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n4376o/>

ハリケーンミキサー

2010年10月30日16時32分発行